

[蘭越町：N邸 我が家マーク]

Example Report

BIOPLUS SAIJO DESIGN

有限会社 ビオプラス西條デザイン

取材・文／三枝史子 撮影／●●●●

北にニセコの山並み、南はゆるく傾斜した見晴らしのいい約1,000坪の敷地。目の前は町道に面しているものの、辺り一面ほぼ森に囲まれた静かな環境だ。そんなロケーションに調和する山小屋風の家のオーナーは、昨年本州から移住してきたNさんご夫婦である。「定年したら都会を離れて田舎でのんびり暮らそうと、夫婦で決めていたんです」。そう話すご主人は学生時代を北海道で過ごし、クラブ活動でスキーに熱中。チセヌプリスキーフィールドや雪舟父温泉は部活の拠点としてなじみがあり、北海道を離れた後も年末には毎年のように訪れていた。蘭越町はそんな縁ある場所にも近く、山も海も身近なことから第2の人生の拠点としてこの町を選んだのだという。

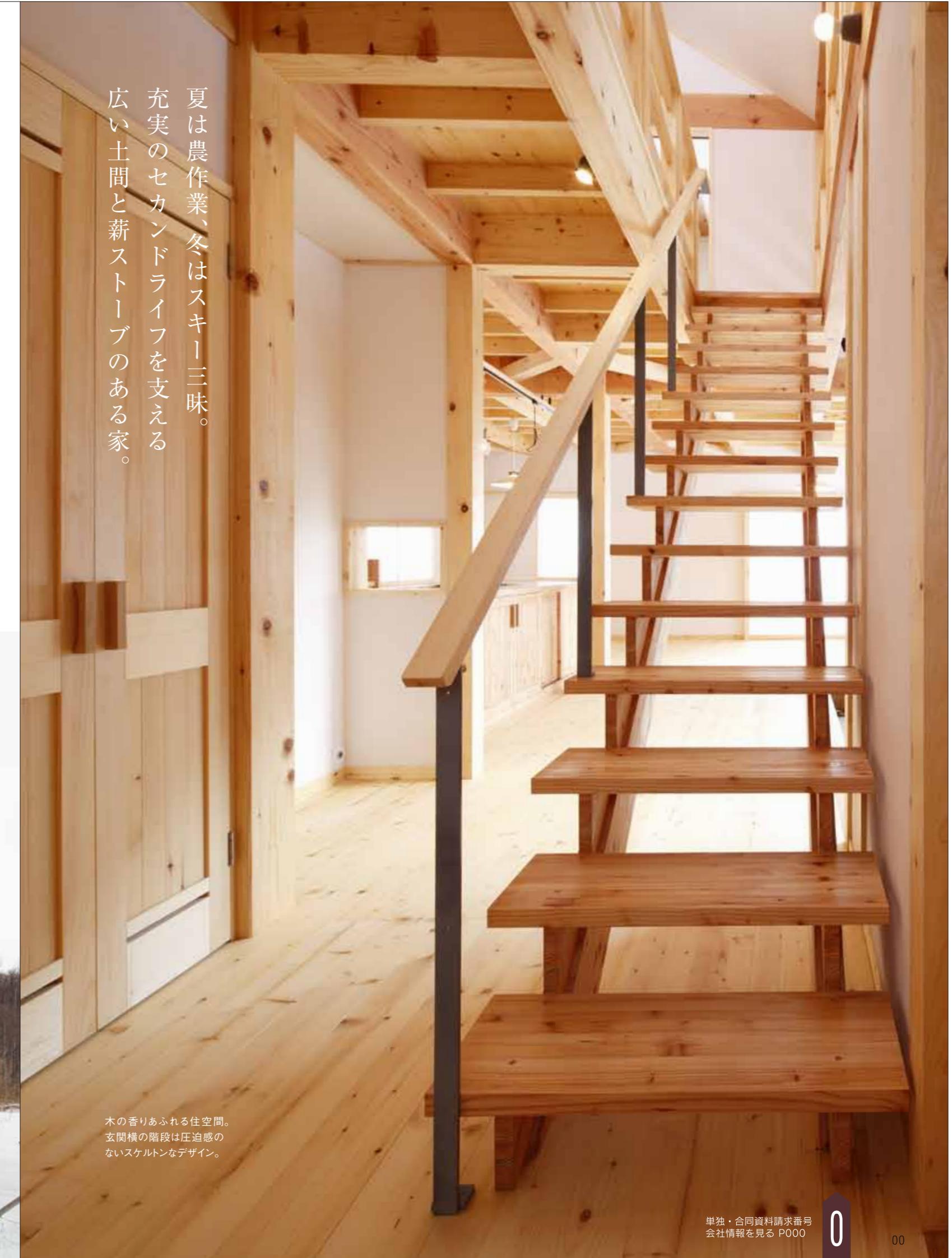
移住先の土地が決まり、次に家をどうするか。ネットや雑誌で北海道のビルダーを探し、自分たちの理想に近いと思われるビオプラス西條デザインにコンタクト。「都会のマンション暮らしだった僕らにとって、無垢の家はまさにドリームハウス。見た目にもやさしい木の床や、

健康的な漆喰の壁でつくられた家に住むのが夢でした」。家ができるまでおよそ1年間、ひとまず札幌の賃貸へ入居し、購入した土地の一角に建つ古家でも半分生活しながら、住まいづくりの過程を見守った。コストを少しでも浮かせるため、ご主人は丸2週間かけて自らの手で壁の漆喰を塗りあげる。大変だったけれど、今となっては忘れない思い出だ。ご近所さんも家の完成を心待ちにし、おふたりの移住を歓迎してくれたそうだ。



広々とした土間に設置された薪ストーブはこの家のシンボル。

夏は農作業、冬はスキー三昧。充実のセカンドライフを支える広い土間と薪ストーブのある家。



木の香りあふれる住空間。
玄関横の階段は圧迫感のないスケルトンなデザイン。





無垢トドマツのフローリングで仕上げたリビングダイニングキッチン。土間と床の段差は25cmあり、靴を履いたまま腰かけるのにちょうどいい高さ。



プランニングに際して、ほしいと決めていたものがいくつかあった。「まず大きな土間と薪ストーブ。長野に住む友人の家で見て、いつかやってみたいと。圧迫感のないスケルトン階段も必須でした」。土間は玄関の引き戸でいったん仕切られ、かつての風除室のように機能させている。そこから靴を脱がずに室内へ入れるのも魅力で、寒い日などはストーブの前に腰をおろし、搖れる炎に手をかざすこともできる。夏には採れたて野菜を泥つきのま

ま土間に広げてもよさそうだ。玄関の反対側には大きな納戸があり、夫婦で20年来続けているテレマークスキーの道具一式を収納することができる。土間や納戸のように内と外の境があいまいなスペースは、自然と一緒にになったライフスタイルには好都合である。

奥さまが希望したのは食品庫とアイランドキッチン。「近所にスーパーがないので、買い物はまとめてすることになるので。食品ストックや日用品を整理して収納できるパントリーは

絶対に必要。今では食品庫のない生活は考えられません。人造大理石の天板とカラマツを組み合わせたキッチンもすごく気に入っています。家にいるときは、ほとんどキッチン周辺で過ごすことが多いですね」。奥さまはステンドグラス製作の趣味もあり、ご自身の作品を2階ホールに設置した。「ふつうは開かない窓になるところ、専用の建具をつくって窓が開くように工夫してくれたのがうれしいです」。



家の暖房は薪ストーブのみ。夕方から就寝前まで火を焚いていれば、朝から日中にかけてずっと暖かい。もちろん、トリプルガラスなど高い断熱性があつてのことである。「北海道の家はあつたかくてびっくり。寒ければ暖房機を後付けすればいいと考えていましたが、その必要はありませんでした」。働き者のストーブのために原本で購入した薪を玉切りにし、斧で割るのも主人の仕事だ。シーズン中は毎日のように夫婦揃ってスキーヘ。手づくりのお弁当を食べ、午後からは近隣のホテル内にあるジムへ移動し、汗を流した後の温泉入浴が楽しみだという。

近所の人々とも顔なじみになり、散歩の途中で野菜を分けてもらうなど気さくなつきあいもはじまつた。昨年はすでに米農家の田植え作業をはじめ、近くのワイナリーでぶどう栽培の手入れから収穫までの手伝いも経験。「はじめてのことばかりでそれなりに大変ですが、楽しんでやっています。うちもこの春から野菜づくりに挑戦するつもり。人生初体験ですが、畑の先生がたくさんいるので心配してません」とご主人は笑う。奥さまは「この辺ではシカやアライグマ、タヌキが畑の作物をかじりに来るみたいよ」といしながらも、その目は楽しそうだ。ここで暮らして思うのは、想像以上に忙しく豊かな毎日。のんびりセカンドライフはしばらく先にのことになりそうだが、冬と夏でメリハリの効いた暮らしはとても新鮮に感じられる。



- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 4 | 1／造作のリネン棚を備えたユーティリティ。 |
| 2 | | 2／ワイドな手洗いカウンターを設けた清潔感あるトイレ。 |
| 3 | | 3／主寝室に隣接する小屋裏収納。 |
| 5 | 6 | 4／アイランドキッチンから見た眺め。障子の窓からやわらかい光が差し込んでくる。 |
| | | 5／ゲストの宿泊にも活用する少し大きめの小屋裏。 |
| | | 6／窓を大きく設けた主寝室。遠くに豊かな森の景色が広がる。 |

Data

敷地面積	3303.21m ² (999.21坪)	○工法／木造在来	○内装材／ホタテ漆喰	○バスルーム／ユニットバス1616
延床面積	132.5m ² (40.08坪)	○基礎／布基礎	○床材／トド松フローリング	○竣工年月／2017年11月
1階面積	69.56m ² (21.04坪)	○断熱材／セルローズファイバー	○開口部／樹脂トリプルガラスサッシ	○工期／約170日
2階面積	62.94m ² (19.04坪)	○屋根材／ガルバリウム鋼板	○暖房／薪ストーブ	○家族構成／ご夫婦
		○外装材／カラマツ木酢液浸け	○キッチン／木製製作	○プラン／フリープラン



有限会社 ビオプラス西條デザイン

【本社】〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1
tel 011-774-8599 fax 011-774-8581
【伊達支店】〒052-0014 伊達市舟岡町50-28
tel 0142-22-0138 fax 0142-22-0139
<http://www.saijo-d.com>

ネットでカタログ請求 検索

0
単独・合同資料請求番号
会社情報を見る P000

Point 設計のポイント

- 北海道産の無垢の木を使用した健康かつ味わいのあるエコロジー住宅。
- 木製サッシのトリプルガラスで高い断熱性能とぬくもりある住空間を実現。
- 土間の上を吹き抜けとし、薪ストーブ1台で2階まで暖める全室暖房。
- カラマツ仕上げのオリジナルキッチンの横には、庫内を低温に保つ食品庫を設置。
- 構造材や下地に集成材や合板を使わず、無垢材を使用して化学物質を排除。

※数社の資料をご希望の方は、○○○ページの合同ハガキでお送りください。
会社情報を見る P000